



## 「近況報告」

第19期生 大坂 帆澄

大学を卒業し、保健師として働き始めてから1年が経とうとしています。

入庁してすぐ、3・4カ月健診、離乳食講習をしています。保健師として、担当事業の運営、電話や訪問等で子育てをしている家族への支援を行っています。知識、経験不足はまだありますが、悩みを抱えているご家族に寄り添い支援していけるように心がけています。わからないことばかりですが、優しい先輩に相談し助言をいただきながら日々の業務を進めています。自ら学ぶ姿勢を忘れず、確かな知識を身につけながら子育てをしているご家族が安心して子育てができる地域づくりをしていきたいです。

さて、昨年度からご縁もあり同窓会理事を務めることになりました。まだまだわからないことばかりですが、自分なりに理事としての役割と全うできるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

## 同窓会ホームページのリニューアルについて

同窓生相互の交流が一段と活発になることを期待し、令和5年4月から同窓会ホームページがリニューアルされました。同ホームページ上で、同窓生インタビューなどの企画も実施していく予定です。ぜひご覧ください！



<https://amukandou.jp/>



## 会費納入のお願い

本会は、皆様方からの会費により運営されています。今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、皆様のご協力が必要となりますので、会費(終身10,000円)未納の方は至急振込をお願いいたします。

※1 ATMからの振込にあたっては、振込人氏名欄に入力する氏名の前に、必ず「学籍番号」を入力してください。(例) ATM振込人氏名欄 123456アイチハナコ  
※2 なお、学籍番号が不明な方は同窓会事務局までご連絡ください。

### 会費振込先

口座名 三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店 口座番号 0004390  
口座名義 愛知医科大学看護学部同窓会

## Editor's Note 15

## 編集後記

看護学部同窓会 副会長 戸谷 信雄 (第5期生)



愛知医科大学看護学部同窓会員並びに卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。2022年度より副会長に就任いたしました第5期生の戸谷です。副会長に就任した経緯としては、私は、同窓会発足当初より理事として関わらせて頂いておりましたが、中々ご協力できていませんでした。その中で、藤澤会長に副会長就任の声をかけて頂いたこと、そして、藤澤会長の同窓会での活動やその姿勢をみるにつけ、私自身もう少し協力はできないかと考えたため就任させていただきました。

さて、2022年度は愛知医科大学創立50周年記念事業のひとつである寄稿文の取りまとめに関わらせていただきました。同窓生の方たちからいただいた文章は、卒業後の様々な活躍を知れるだけでなく、学生時代の思い出も語られており、私自身、どうして看護師にならなかったか、今後どうしていきたいのかなどを考える機会となりました。同窓会の寄稿文は、50周年記念ホームページに掲載されていますので、まだ、見ておられない方はぜひご覧いただきたいと思っております。

また、コロナ禍が終息しないため、看護学部同窓会の役割のひとつである「同窓生相互の交流と親睦をより一層深める」というところ中々難しい現状がありますが、会長はじめ理事の方々の協力のもと、出来ることを少しずつでも行おうということで、卒業生によるミニレクチャーを開催しております。参加人数は寂しい現状にありますが、ミニレクチャーの内容はどれもとても勉強になり、看護師として活かしていくことができる内容となっております。皆様の参加をぜひお待ちしております。また、同窓会運営に関して何かご意見がありましたら看護学部同窓会ホームページへご意見の方をお願いいたします。

最後に、コロナ禍の影響で対面行事がなくなり、理事会がリモートになるなど、皆様と直接顔を合わせて交流する機会がなくなりました。その中で、同窓会として何が出来るか試行錯誤して活動していきたいと考えております。引き続き、看護学部同窓会の運営にどうぞお力添えをよろしくお願いいたします。

## 愛知医科大学看護学部

# 同窓会会報



## 会長挨拶

看護学部同窓会  
会長 藤澤 恵児 (第9期生)



愛知医科大学看護学部同窓会会員の方、並びに関係者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃から、愛知医科大学看護学部同窓会活動にご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。

2022年度は、愛知医科大学が創立50周年を迎えられた年でした。看護学部創立20周年に引き続き母校がますますご発展されていくことを大変誇りに感じております。そして、毎年、卒業生が増えていく中で同窓会としての存在や役割の大きさを日々考えさせられています。

昨年度は、看護学部同窓会の理事・役員の改選があり、新しいメンバーでの1年となりました。誠に僭越ではありますが、私自身も会長として3期目を務めさせていただく形となりました。昨年度から引き続き理事を引き受けてくださった方、また、新しく理事に加わってくださった方に改めてお礼申し上げます。母校のさらなる発展のため、会員の皆様に同窓会があってよかったと思っていただけるように理事1人ひとりが思いを持って活動しておりますので引き続き会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年度は、インターネットを用いた同窓会の広報活動や情報提供のできる環境をより充実させ、どこにいても会員の皆様に同窓会のことを知っていただけるような環境を整えていきたいと思っております。また、昨今の社会情勢により対面でのクラス会などの開催も今まで以上に課題を要する現状にあります。そのような中、オンラインを活用した同窓生のコミュニティの場なども整えていくことの必要性も感じております。今年度もミニレクチャーの開催など同窓会としての企画を実施していきたいと思っておりますので、ぜひ多くの方々にご参加いただけましたら幸いです。

また、定期総会(年に1回)では、同窓会としての1年の活動報告や今後の活動についての意見交換を行っております。Zoomと会場でのハイブリッドの開催ですので遠方の方もご参加いただけます。ぜひご参加いただき会員の皆様のご意見を伺えましたら幸いです。

看護学部同窓会が、卒業生からも在校生からもより身近な存在とってもらえるように役員一同取り組んで参りたいと思っておりますので、本年も皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 第2回

看護学部同窓会  
ミニレクチャー開催レポート

2022年3月から始まった同窓生・在学生の交流および看護の質向上を図る同窓会企画についてのご報告です。

第2回は、第8期生 がん化学療法看護認定看護師 稲垣 拓磨 理事による「がん患者とのコミュニケーション」についての講義&参加者との意見交流をしました。

第2回 看護学部同窓会  
ミニレクチャーに講師として参加して

第8期生 稲垣 拓磨

第8期生の稲垣拓磨です。昨年より「同窓生、在校生が交流を図りながら一緒に学び合える」をテーマに始まり、第2回講師としてミニレクチャーを開催させて頂きました。開催にあたり、企画や準備等、ご協力頂いた看護学部学生支援課の皆様へ心より感謝申し上げます。

2019年にがん化学療法看護認定看護師を取得し、現在は血液内科・外来化学療法室で勤務しています。その経験より今回は「がん患者とのコミュニケーション」をテーマにお話しさせていただきました。薬物療法に関する多様な情報の中から、患者にとってより必要な情報を提供するためにも、患者と対話を繰り返し、患者の治療に対する思いや治療の在り方を理解できるよう心がけています。講義では、在学生から実習で役立てたいという声や、現場ならではの疑問や悩みを持った方からご質問を頂き、少人数ながら活発な意見交換ができ、嬉しく思いました。

現在、在学生とは実地指導者として実習等での関りに限られている現状ですが、今後は、実地指導者ではなく、卒業生としても知識や経験等を還元できるように活動していきたいと思っております。

参加者からのご感想  
(アンケート結果)

- 幅広い年代に行うレクチャーであり復習として聞くことができました。
- 実体験をもとに教科書にないお話を聴いて改めて自分の看護観を見直す機会となりました。
- 普段の患者さんとのコミュニケーションを振り返ったり、すぐにも活用できるコミュニケーション方法を伺うことができ参考になりました。
- 患者さんの思いの受け止め方や一緒に未来に向かって話をしていく方法がとても参考になりました。
- とてもわかりやすく素敵な内容でした。

アンケートへのご協力をありがとうございました。

今後も、看護学部同窓会では、同窓生・在校生のためになるさまざまな企画を考えていきたいと思っております。



## 令和4年度 卒業生 (第20期生)



## 令和4年度 卒業生代表挨拶

令和5年3月4日、私たち第20期生は、卒業の日を迎えることができました。皆様のご協力のもと、無事に4年間の大学生活を締めくくることができ、大変嬉しく思います。また、この度は看護学部同窓会から私たち卒業生へ記念品をお贈りいただき、ありがとうございました。卒業生一同、感謝しております。

4年間の大学生活では、多くの日々を新型コロナウイルスの影響を受けながら過ごすこととなりました。先が見えず、変わりゆく状況の中で様々な不便がありながらも、先生方には充実した学びの環境を整えていただきました。そして、学生同士で励まし、支え合い、看護職者としての知識や技術、心構えを学ぶことができました。たくさんの先生方や仲間と出会い、大学生活を共に送れたことを、誇りに思います。

卒業後は、それぞれが自分の道を歩み始めますが、大学で得た学びを最大限に活かし、看護に携わるものとして社会へ貢献できるよう、より一層精進していきたいと思っております。

最後になりますが、これまで私たちを指導して下さった先生方、その他支えて下さった職員の方々、家族、全ての皆様に、心より感謝いたします。そして、愛知医科大学看護学部のさらなる発展を願い、ご挨拶とさせていただきます。

第20期生 岩下涼華、遠藤優月、成田有羽、平松はるな、森川幸香

## 令和5年度 事業計画 (案)

- 1 看護学部同窓会報15号の発行
- 2 令和5年度卒業生への卒業記念品贈呈
- 3 令和5年度卒業生への看護学部同窓会長賞記念品贈呈
- 4 卒業生への補助
- 5 クラス会等への補助
- 6 保健師の会への補助
- 7 ミニレクチャー等の交流企画
- 8 看護学部との連携
- 9 看護学部同窓会広報活動

## 定期総会開催

看護学部同窓会定期総会を次のとおり開催いたしますので、ご多忙のこととは存じますが、ご参加くださるようご案内申し上げます。

開催日時 令和5年 6月17日(土) 10:00~

開催方法 対面及び遠隔のハイブリッド開催

出欠確認 以下のフォームに入力をお願いします。  
<https://ws.formzu.net/fgen/S783211623/>

